

まちづくりを楽しむまち

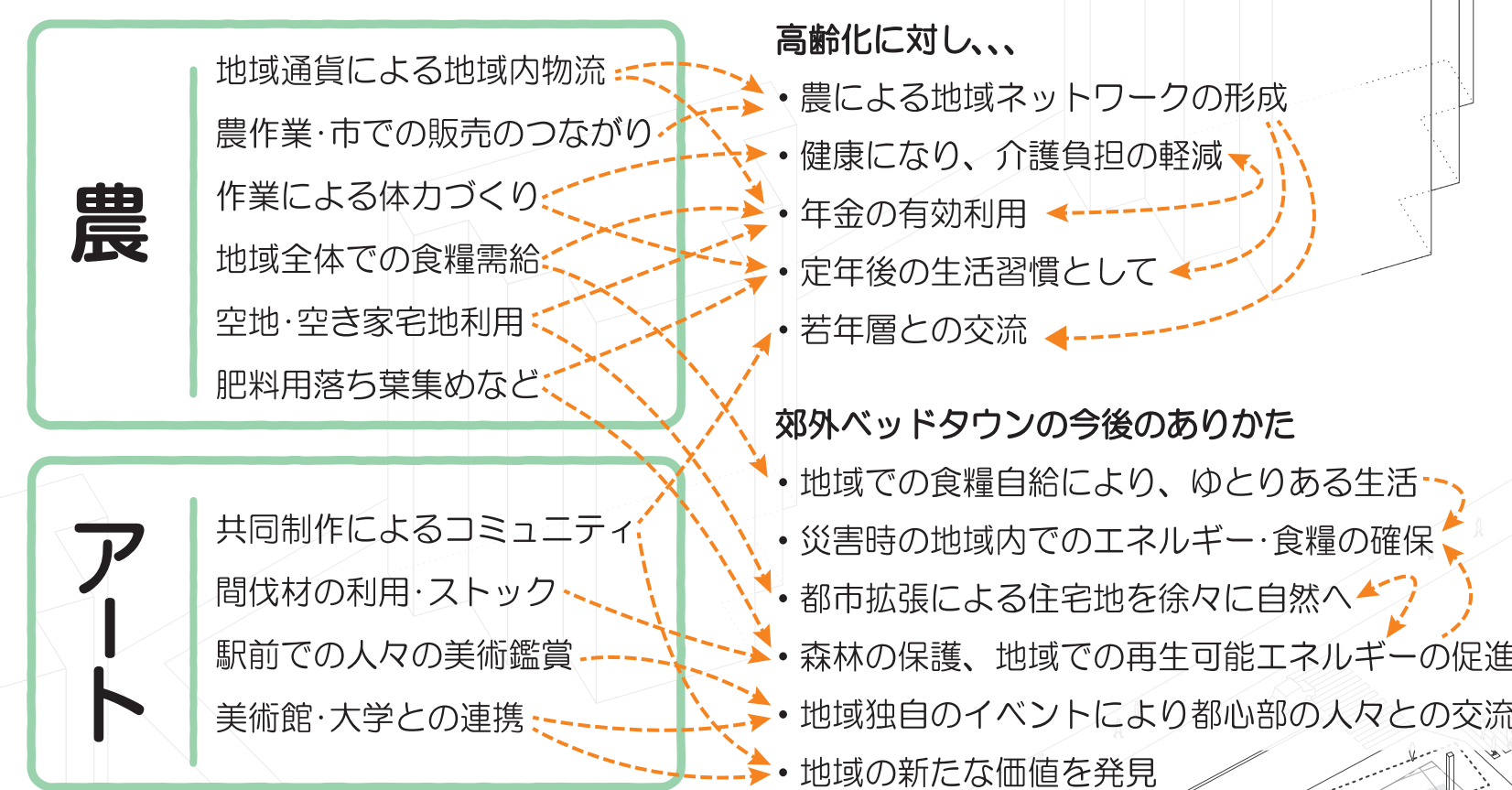
【まちの歴史として ハレとケの活性化】



昔から継続されている行事は、日常の生活習慣と関連している。たとえば祭は、日常的な地域コミュニティが成り立った上で、アクセントとして日常に活気をもたらしている。

これまでの、そしてこれからの地域の歴史を築くにあたり、継続的な地域コミュニティの育成を目指し、日常（ケ）と非日常（ハレ）を相互に関連づけ、地域活性化のサイクルをもたらす提案。

【農とアートによるまちづくり】

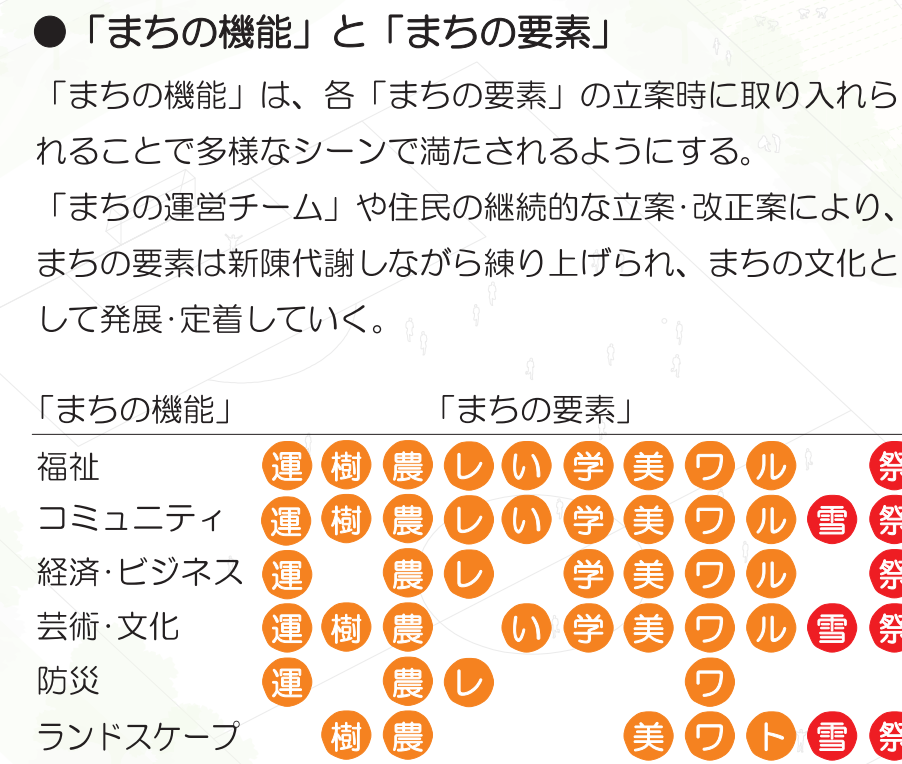


まちの運営チーム

●住んでる人によるまちづくり
まちづくりの主役である、まちに住む人・使う人で官民一体となった権限のある「まちづくりチーム」をつくる。

プロの力も借り、チームみずから声を集め、要件をまとめ、それを開発の拠り所にする。行政からは関連各課から参加し、様々な分野に対し横断的な判断ができる体制とする。

開発が終わった後も「まちの運営チーム」として人任せにしないまちづくりを行い、駅前で一般公開して行うまちづくり会議により、まちづくりへの意識を一般化・日常化する。



くるまコマナイ

- 商業施設と公共施設の駐車場アプローチ、バスや通過交通の流れを整理。
- 各施設用の駐車場は建物の地下へ設置。



寄り道

通勤通学の途中、市役所や図書館への用のついでに、駅前にちょっと寄り道。観光地の行き帰りに、ちょっと寄り道。



マコマイルシェ



ワークショップ



ランジットモール

既存道路を利用したバスターミナルの歩車共存。
200m大綱引き

まちあいプレイルーム



畑のレストラン



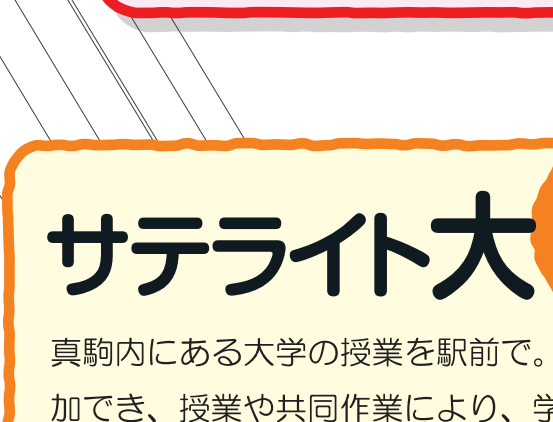
雪まつり

雪のすべり台に、雪だるま、雪合戦。寒い冬でも、子供達が元気になる冬のお祭り。

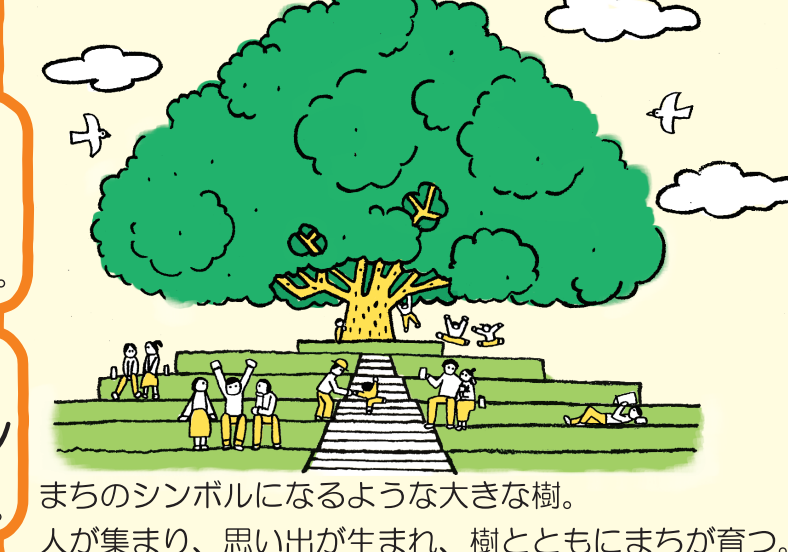


みんな参加アート

駅前企画展覧会



樹とともに



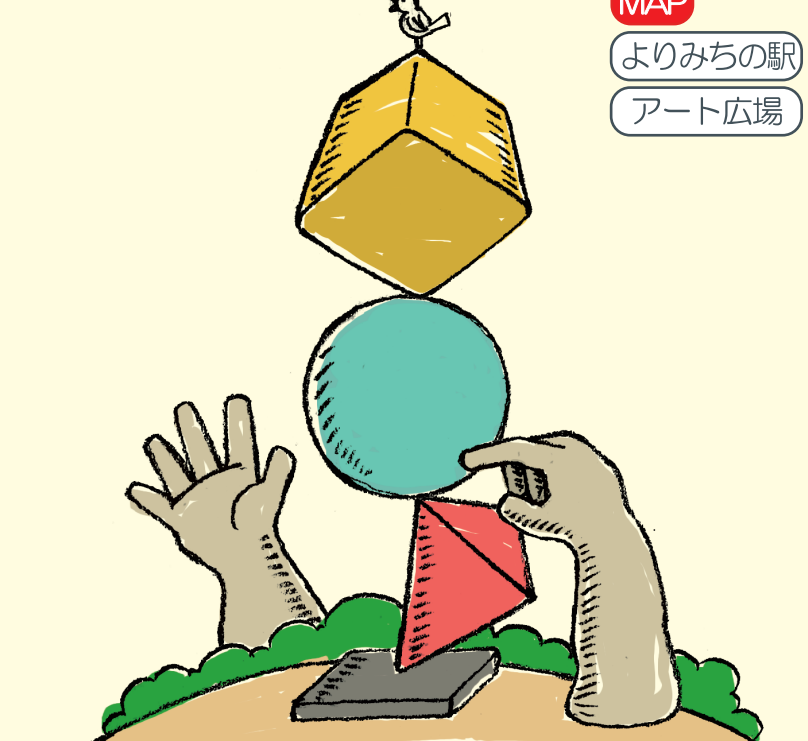
サテライト大学

真駒内にある大学の授業を駅前で。地域住民も参加でき、授業や共同作業により、学生と地域住民との交流が生まれる。



サテライト美術館

美術館の作品の一部を駅前で。パブリックアートで駅前を美術館に。学生のアート制作など。



まこまない農園



秋・収穫祭

地域の野菜回収カー
家庭菜園の野菜・規格外の野菜をマコマイルに交換。

ゆきむろ
雪を利用して野菜を保存。

畑のキッチン
採れたて野菜をその場で。